

10周年記念事業委員会主催

総合社会学部卒業生アンケート結果

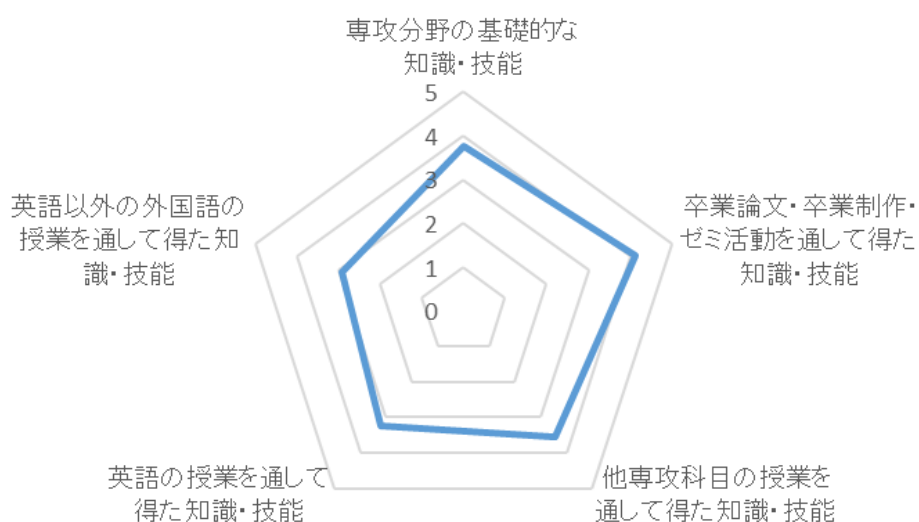
【社会・マスメディア系専攻】

期間:2021年10月

方法:総合社会学部 LINE オフィシャルアカウント経由でのウェブアンケート

分析対象者:記入のあった445名のうち社会・マスメディア系専攻の卒業生109名

【1】 大学での学びは、卒業後、どの程度役に立っていると思いますか？
(全く役にたっていない0～非常に役にたっている6)



【2】印象に残っている授業について(26名の有効回答)

一部をピックアップして紹介します。

自ら積極的に動く力を培う

- ・社会調査法の授業が印象に残りました。自分たちでアポを取って取材をして発表するのが初めてで大変でしたが、グループのメンバーと協力して調査し、発表に向けて準備したのがとても印象に残りました。
- ・文章を書く授業。無駄を削って読みやすい文章を書く授業でした。
- ・ゼミです。他の授業では座学など聞いているだけが多かったですが、自分で考えて、自分で行動し、自分で取材して、自分の意見を交え記事を書くという経験は大きなものになりました。毎回具体的なお題に合わせてスピーチをするというのも、就活に大いに役立ちました。

未知の世界に開かれた目

- ・魚の気持ちになる授業です。色々な意味で衝撃を受けました。
- ・自殺についてです。日常のニュースの中でも自殺についてトピックが上がると期待と現実のギャップを意識

してしまいます。

- ・新聞記者が講師として講義をしてくださった時、筋電義手についてのテーマが記憶に残っている。その講義を受けるまで筋電義手のことを全く知らなかった。この講義を受けたことで、まるで別の世界を知ることができたかのように思えた。
- ・ゼミ生のみんなで能を見に行ったり、美術館を見に行ったり…自分 1 人ではなかなか経験出来ないことをみんなと一緒にできて良かったです。先生の解説があったのも大変勉強になりました。
- ・現場からの放送論等のメディアに関する授業は、今までテレビを見ていただけではわからない制作側の意図や想い、沢山の役割があって成り立っていることを学べた授業でした。
- ・広告論の授業が凄く楽しく、その後メディア系の会社へ就職しました。
- ・映像制作演習で、なかなか普段触ることがない動画編集ソフトを使うことができたのは良かったです。

自分と向き合って考える時間

- ・卒論。問い続ける難しさを感じました。「考えるを深める」。教授から頂いたこの言葉は今も大事にしています。
- ・広告の授業。最後に感想を書くのだが、自分の気持ちや感じ方と向き合う貴重な時間だったように思う。
- ・哲学。答えの出ない問い(正解不正解がない問い)について、自分なりに様々な媒体を通して調べ、時に周りの意見も聞きながら自分なりの答えを導き出すということは、社会に出て役に立ったスキルの一つです。
- ・Gmail アカウントを開示しリアルタイムで質問を受け付けてくれることで、大教室での講義でしたがゼミ室で教授と問答しているような感覚でした。また、現職のマスメディア関係者を招いて毎週講演会のような講義を受けたことも印象に残っています。直接今の仕事に活かす知識ではなく、社会人としての仕事に向き合う姿勢を学べた気がします。
- ・映像表現論。授業時間が 7 時間ほどあった。そのおかげで、人の話を長時間集中して聞く体力が身についた。

専門外で得た知識

- ・いのちの尊厳。今も時々思い出す。
- ・中国語は本当に楽しく、勉強になりました。あの時間が私の癒しの時間であったと言っても過言ではありません。生徒がいかに中国語を好きになり、楽しく学んで帰ってってもらえるかを常に考えて授業をされる、素晴らしい先生でした。

【3】大学時代の学びや出会いが、今に生きていると思ったこと(有効回答 26 名)

大学での学びがそのまま生きている

- ・大学時代に勉学に励んだことは、その後の人生においてもさまざまな事に真面目に取り組む姿勢を作ってくれた。
- ・ゼミで、自分でテーマを決めて、その道のプロにアポを取ってインタビューをしに行き、ゼロから記事を作成した経験を通して、かなり度胸がつけられたと思います。営業での新規アポ取得の際のテレアポや飛び込み、商談時に役立っています。

- ・最近ではSDGsについて関連付けている仕事が増えているので、基礎知識を大学時代に学べたことは良かったなと思います。
- ・ゼミでの影響がとても大きいです。学外での芸術に触れる授業があったお陰で、今でも自ら美術館へ行くと思うようになったから。
- ・昔から文章を書くのが苦手だったが、記事制作のゼミに所属して文章を書く力が少しついたと思う。メディア系の仕事ではないが、仕事で報告書などをまとめる際に役立っていると思う。
- ・実際、社会に出て物事に対して「なぜ？」と思うことが増えた。例えば、給料や手当などのお金である。勉強は大学を出てからも必要なのだと実感した。
- ・映像制作の授業。映像編集してアウトプットした経験があったからこそ、会社に入って映像を作るチャンスがあった際に任せてもらった。

今につながる出会い

- ・交友関係が続いている友人がいるので、人との出会いの場として感謝している。
- ・近大スポーツ編集部で、取材していた選手の方々が社会人になっても、プロやアマチュアの大会で活躍されていて、その大会に実際観に行ったりして、近大で出会った人達の繋がりが今でも続いています。
- ・人との新たな出会いがあることで、コミュニケーション能力が必要だと思う。コミュニケーション能力が高ければ高いほど、仕事する際に便利だと思う。
- ・私自身、社会的マイノリティとされる方や外国人の方などにどのように接すればよいかを考えて生きてきました。大学で先生方に教えていただいたこと、自分の考え方が間違っていたと学んだことなど、現在の生活での自分のマイノリティの方に対する配慮や考え方に大いに役立っていると思います。例えば、外国人の方に会ってもまずは日本語で話しかけるなどを実践しています。

多様な経験が今の土台に

- ・地元以外の色んなところから来てる人達と出会えて視野が広がった事は、社会人になってから非常に活かされている。
- ・ミスコン、部活の部長、文化会総務長、ゼミ長など大学で身に付いた積極さで、色々なことに挑戦しようと思える精神が築けた。
- ・ラグビー部での活動で自分に自信を持つことができるようになった。

自由さが与えてくれたもの

- ・終わってから大学時代がどれだけ自由で一番楽しんで学べる環境だったかを痛感しています。大学時代の思い出は今でも思い返すと楽しかったなあと感じ、それが人生に生きているかはわかりませんが、大切な思い出だと思います。
- ・自分とは違う立場の人でも受け入れる、ある先生の姿勢というのは非常に参考になりましたし、これのお陰で人間関係を円滑に進めることが出来ております。
- ・授業内容も高校までとは全く違って非常に価値のある時間だったと思うが、それよりも近大ならではの生徒数で幅広い交友関係を築ける点や、高校までのようなクラスという明確な線引きがない自由さは、自分の考えや行動を育てたと思うし今後に役立っている。

・自分の考えを大事にする。周りの意見に流されず、自分の考えを押し通す

【4】総合社会学部社会・マスメディア系専攻のお勧め度

全くお勧めしない0～自信をもってお勧めする10

平均点 8.2±1.3 点（得点範囲:4－10 点）

【5】卒業生から現役生・高校生へのメッセージ(有効回答 47 名)

・私が働いているのは一見縁もゆかりもなさそうな医療業界ですが、福祉のお仕事でも社会・マスメディア系専攻で身に着けた対人スキルや情報を精査する能力は役に立ちますし、何より手広く学べるので自分の見ている世界の見方を一気に広げるチャンスですので是非学んでみてください！！

・文系の学びをほぼ 100 パーセント活かさないような職についたとしても、人生に必ず学びは生きてくると信じています。自分が勉強したいことを思いっきり勉強できる最後の機会です。楽しんでください。

・今また保育の資格を取るため専門学校に通っているが、全力で頑張ったから別の道に進もうと思っても、それが何かしら活かされてる。だから、とにかく誰よりも全力、どんな時も全力、大きいことでなくても、自分が全力になれることをとにかく挑戦してみたらいいと思う

・時間のあるうちに、学割がきくうちに資格講座を受講し資格をとること。社会人になってから資格をとるのは大変。公的資格をとっておくと人事、労務など会社の中でもいきたい部署に有利になる、転職でも役に立ちます。

・資格取得(TOEIC や IT 系)パソコンスキルを鍛える。(Illustrator とかプログラミングも少し触ってるだけで全然違う)

・学校には毎日行きましょう(笑)。社会に出るとそこにいるだけで居場所が確保されるようなことが無くなるので、自分のコアとして大学に居場所を作るのは大切だったなと思います。

・聞く力を鍛えましょう。人は正論だけでは動かないからです

・少しでも興味を持ったものはとにかくやってみること！(3 日坊主でもいいと思います)大学は沢山の人がいるので、自分が自分らしくいられるような人に出会ってください！

・大学の施設は存分に活用してください！近畿大学の施設はとても充実しています！学割を使い、美術館や公共施設に沢山行ってみましょう！

・本当に色々な人と出会い、交流して社会に出て欲しいです！ゼミの教授だけでなく、他の講義の教授ともいっぱい話して学んでください！

・何かに悩んだ時は身近な人に相談するのもいいが、本をもっと読めばよかったと思いました。スマホに夢中になる年頃だと思いますが、スマホの小さな画面を越えた日常生活の中で、自分がやってみたいと思うことは多少お金の余裕がなくてもやっておいたほうが良いと思います。

・とにかく大学時代ほど楽しく気楽で自由な時間はないので、したいことがあったら何でもしたほうが良いと思います。あと、社会人になれば嫌でもお金は貯まるのでバイトはそれなりでいいと思います。

・大学生の間は良い意味で責任もなくて、時間が有り余ります！もちろん社会に出ても失敗を恐れないチャ

レンジ精神は大事ですが、組織に所属していると自分は良くても会社に迷惑がかかっちゃって無鉄砲なことはいけませんので、今のうちに色々なことに挑戦して失敗して経験を積んでほしいです！

・語学は身につけておいて損はないですね

・「やれば出来る子」といいますが、やるべき時にやれるかどうかも含めて実力だと思います。行動力は何よりも早く身につけるべきです。私もまだ足りていないので、お互い頑張りましょう。

【6】卒業生からのメッセージを読んだ在校生より(学年は 2021 年度)

卒業生の方々からのメッセージを読んで、今この学部で学んでいることは、社会に出た時、多方面で役立つのだなと感じました。また、大学で学んでいる学問を超えて、自分自身が興味のあるものを自ら行動さえすれば、たくさん学べることも大学生の特権だなと改めて感じました。元々、新しいことにチャレンジすることは好きでしたが、これからも様々なことに挑戦する意欲はこれからも持ち続け、色々な意味で充実した大学生活を送りたいです。(2年:井寄陽菜)

先輩方のメッセージを拝読し、大学入学前の初心にかえることができました。私自身、実際に大学生活をしていると学べることへのありがたみを忘れがちでした。なので、今後は先輩方の言葉を噛み締め、大学での自由な時間をどう過ごすか、大学生として何が出来るのかを考え、責任を持って行動したいと思いました。自分らしさを忘れずに自由を楽しみたいと思います！(3年:木藤千瑛)

卒業生からのメッセージを読み、就職先が医療業界や保育系など多種多様で、さすが総社だと感じました。一見関係の無いように思えても、ここでの学びは必ず何かしらに繋がっている。だからこそ、大学生という貴重な時間を利用して、好奇心を育み、貪欲に行動・挑戦していきたいと思いました！(2年:西原夢乃)

今の環境を当たり前とは思わずに、挑戦できる時間に感謝しながら、学生の残り一年間も学び続けたいです。総合社会学部で得た学びや人とのつながりを、一生の宝物だと胸を張って卒業できるような学生生活を送ります！(3年:永野瑠衣)